

十島村学校環境衛生検査に行ってきました

鹿児島市薬剤師会 学校保健委員会
委員長 長野 慎治



新型十島フェリー（2018年4月より就航）

今年度も十島村の学校環境衛生検査行ってきました。悪天候による延期もあり、日程は異なりしたが、検査に協力をいただいた方は以下の先生方です。野元先生（口之島担当）、日高先生（中之島担当）、丸野先生（平島担当）、西田先生（諏訪之瀬島担当）、町田先生（悪石島担当）、岩田先生（小宝島担当）、わたくし長野（宝島担当）の7名が学校環境衛生検査および薬物乱用などの講話を実施してきました。

離島の環境衛生検査の活動内容を少しだけ紹介させていただきます。十島村にはフェリーで移動します。23時に鹿児島港を出港し、約6時間かけて初めは口之島に、つづいて中之島に、最後の宝島には鹿児島を出航12時間後の午前11時に

入港します。それぞれ1名担当者が入島し、そこから学校薬剤師の活動が始まります。

学校環境衛生検査では時間に限りがあり、また、島のフェリーの時間によって活動時間にかなり差がでるものの、検査内容はほぼ鹿児島市内で行われている学校薬剤師活動と同じです。その内容を5時間程度ですべて終わらせてしまう、短期集中の学校薬剤師活動です。

検査内容は「照度測定」、「給食室の衛生検査」、「飲料水の水質」、「施設の安全性」を基本に実施しております。講話では生徒数が少ないので、小学生は低学年と高学年に分けたり、または全学年まとめたりと、「たばこ・お酒・薬物乱用」を児童の構成年齢に合わせて実施します。また、中学生も1年から3年まとめて「薬物乱用」や「血液教育」とほぼマンツーマン授業を実施していきます。さらに、学校が終わった後も宿に向かわず、地域の方に「お薬勉強会」を開催、診療所を訪問し、「薬の飲み方」のパンフレットを配布するなど地域啓蒙活動に貢献していただいている先生がいることに感謝しております。

昼食は生徒たちと一緒に給食をいただきます。食品の衛生管理だけでなく、食育も学校が力を入れているのを一緒に給食を食べて感じました。

今年度の検査の報告では、現時点で水質、給食室、講話など実施していただき、特に問題なく実施できたことを報告いたします。



十島村地図（十島村 HP より）



薬物乱用教室の授業風景



宝島小中学校の給食